

メンテナンス要領

トラブル発生防止、円滑なボート活動のためのメンテナンス要領について示す。



1 整備要領

(1) IRB の整備要領

ア 洗浄方法

使用の都度、中性洗剤の溶液及び水で小石・油や汚れを落とし、ゴムボートの表面をきれいにする。特にボート内側の底とチューブが接している部分に異物が残っていないかどうか確認する。異物が残っていると、輸送中にゴムボート表面を摩擦により破損させ、裂孔及び破裂の原因となる。

- ① インフレーターボートに空気が入ったままの状態では壁に立てかけ水洗いする。
- ② ボートを膨張させたまま保管可能であれば、若干脱気した状態で保管する。
- ③ 全体をばらすときは、底板の裏側も水洗いし、折りたたむ。

イ 保管方法

完全に乾くまで陰干しをする。できれば若干の空気を入れた上で、完全に広げ、涼しく暗く乾燥した場所に保管する。できない場合は、ボート全体を緩く巻いて、保管する。

(2) 船外機の整備要領

ア 洗浄要領

- ① 船外機につながっているフューエルパイプジョイントから、燃料ホースを外す。ホースの先端に異物が混入しないようビニール等をかぶせる。
- ② 船外機をボートから取り外し、船外機ラックに取り付ける。
- ③ 船外機にエンジンカバーが付いている状態で全体を水洗いする。
- ④ エンジンカバーを外し、エンジン内を水抜きする。この状態で水をかけても良いが、その時は以下のことに注意する。
 - ・ キャブレターの中に水が入らないようにする。
 - ・ 電装品、特にコネクターには水がかからないようにする。
 - ・ 水洗い後は必ず乾拭きをし水気をとる。
- ⑤ 船外機の冷却水通路を水洗いする。
 - ・ ウォーターチェックプラグがある場合は、船外機に直接つなぐ。ウォーターインレットをテープ等で塞ぎ、エンジンを5分程度始動させる。
 - ・ ウォーターチェックプラグが無い場合は、キャビテーションプレートまで入る大きなバケツやドラム缶等に水を入れて、エンジンを始動させる。

イ 擦動部にグリスを塗布する。

擦動部に水や埃がついたままだと錆が発生しやすくなり動きが鈍くなる。

※塗布箇所

- ・ ボルト・ナット類
- ・ スターター爪部
- ・ プロペラシャフト部
- ・ クランプ・スクリュ部
- ・ シフトレバー部
- ・ アクセル部

ウ 燃料フィルター清掃

発生頻度は高くないが、フィルターが詰まるとエンジンにガソリンが供給されなくなり、エンジンストップを起こしてしまうことがある。

エ キャブレッターの水抜き

キャブレッターの中の不純物を取り除き、ノズルの詰まり防止のために行う。

- ① キャブレッターの下に布を敷きドライバーでドレンプラグを緩める。
- ② プライミングを行い、水や汚れを出す。
- ③ ドレンプラグを閉める。

オ スパークプラグのチェック

- ① 電極の色を確認する。

黒く湿った → 不完全燃焼

黒く乾いた → 不完全燃焼

薄褐色 → 良好

真っ白 → 焼けすぎ

- ② ワイヤブラシやヤスリなどで発火部分を掃除し、ガソリンで洗う。洗った後は、エアガンで吹きよく乾かす。電極が丸く消耗していたら、ヤスリで角が立つように削る。中心電極と側方電極との間隔は、0.5～6mmになるようにする。電極が減りすぎている場合や、ガスケットが潰れすぎている場合には交換する。

カ プロペラの確認

- ① プロペラに過度の磨耗、損傷、欠け、曲がり、腐食がないかを点検する。
- ② 損傷等が著しいものは、交換する。

キ トリムタブの調整

IRB が右や左へ旋回してしまうときは、トリムタブの調整が必要なことが多い。

- ① 船体が自ら右旋回する場合は、トリムタブを右方向に回す。
- ② 船体が自ら左旋回する場合は、トリムタブを左方向に回す。

ク ギアオイルの交換

- ① ギアオイルドレンを開け、オイルを抜き取る。
- ② ギアオイルドレンを締め、オイルを注入する。

ケ アノードの掃除

アノードは常に表面に汚れが無く、素肌の状態で海水に接していなければならない。使用していると、酸化物質がたまるので、ブラシ等で削り落とす。

コ 燃料タンクの掃除

燃料ホースを外して、タンクの底に燃料を少し残した状態で、キャップを締め、揺すりながら逆さにして、キャップを外してガソリンを捨てる。

サ ハンドスターターの確認

スターターロープが磨り減っていたり、機構部が磨耗していないか確認する。損傷が激しいものは交換する。

2 使用前点検

(1) 船体の点検

- ① 船体外観に亀裂等がないか確認する。
- ② 船底プラグの緩み及び閉鎖を確認する。

(2) 船外機の点検

- ① 船外機取り付け部のボルト、クリップに緩み等がないか確認する。
- ② 燃料油量を確認する。
- ③ 燃料フィルターや燃料油水分離器にゴミや水の混入がないか確認する。
- ④ エンジンオイルの液量を確認する。
- ⑤ アノードがあるか確認する。
- ⑥ プロペラの変形、ロープ等が巻き込んでいないか確認する。

(3) 電気系統の確認

- ① バッテリーの液量を確認する。
- ② 航海灯の点灯を確認する。

(4) 救命設備等の確認

- ① 救命胴衣等が必要数あるか確認する。
- ② 適切な場所に格納されているか確認する。

(5) エンジン始動後の検査

- ① 冷却用の水は通常通りの量及び勢いで排出されているか確認する。

※使用前点検チェックリスト

3 使用後点検

※使用後点検チェックリスト

4 日常点検

※日常点検チェックリスト